



市民掲示板

【剣道体験会のお知らせ】

- ▲日時/10月26日(日)10時～12時
- ▲会場/ちの地区コミュニティセンター 体育館(茅野市塚原1丁目9-16)
- ▲内容/【剣道を体験してみませんか?】茅野市剣道協会では剣道を通じて、「礼儀正しさ」「丈夫な身体」「豊かな心」を養った健全な青少年の育成に取り組んでいます。剣道は老若男女問わず、生涯にわたって続けられる競技です。お子様に剣道を体験させてみたい方、剣道に興味がある方、お気軽にお越しください!
- ▲参加費/無料
- ▲持ち物/動きやすい服装(裸足で運動をします)、タオル、飲み物
- ▲申込期間/10月20日(月)まで
- ▲申込方法/氏名、年齢、住所、電話番号を明記のうえ、メールまたはSMSにてお申し込みください。
- ▲問/茅野市剣道協会 長田
☎090-1867-2259
E-mail: chinokensports@gmail.com

【ハワイアンフラ無料体験&会員募集】

- ▲日時/
【シニア健康フラ】
10月2日、23日11時～
【こどもフラ】
10月4日、18日13時30分～
【初級フラ】
10月7日、21日11時～
- ▲場所/茅野市中央公民館、豊平地区コミュニティ等
- ▲内容/ハワイ島スタイルのフラダンスをゆっくり練習しています。新しいクラスの仲間を募集しています。みんなで楽しめるハワイアン音楽にゆられてみませんか?
- ▲対象/女性(3歳以上)
- ▲申込・問/ファミリーフラ リリコイ 原
☎090-5779-2375

【刃物研ぎ体験】

- ▲日時/11月13日(木)10時～16時
- ▲場所/茅野市中央公民館2階料理実習室
- ▲内容/切れなくなった包丁や鎌を使っていますか。研ぎ方を教えていただき、切れ味をよみがえらせましょう。
- ▲講師/ブックマーク(株)くらしの工具屋
- ▲対象/60歳以上で、シルバー人材センターに入会し就業を希望される方 ※すでに入会されている場合は、刃物研ぎの仕事をしていない方
- ▲参加費/無料
- ▲定員/10名
- ▲持ち物/包丁、鎌、砥石(お持ちの方)、筆記用具、飲料水、昼食、手拭きタオルまたはハンカチ
- ▲申込方法/9月29日(月)～10月27日(月)までに、下記まで電話にてお申し込みください。
- ▲問/茅野広域シルバー人材センター
☎73-0224

【シルバー人材センター入会説明会】

- ▲日時/10月15日(水) 14時～
- ▲場所/茅野広域シルバー人材センター
- ▲申込方法/事前に電話でお申し込みください。
- ▲問/茅野広域シルバー人材センター
☎73-0224

【俚謡(りよう)の世界と水彩K展】

- ▲日時/10月3日(金)～17日(金)
- ▲場所/茅野市中央公民館1階ロビー
- ▲内容/次世代に向けて茅野の文化を! 茅野市内の現代の俚謡作家7名の作品を展示します。
- ▲料金/無料
- ▲問/茅野市俚謡(りよう)会 増本
☎76-3008

【公共職業訓練(ハロートレーニング) 令和7年度12月生募集】

- ▲内容/離職された方が新たにものづくり関係の仕事に就くための職業訓練受講生を募集しています。
- ▲募集コース/
・CAD/NC技術科
・シートメタルクラフト科
・電気設備技術科
- ▲定員/各科10人
- ▲訓練期間/7か月間
(令和7年12月2日(火)～令和8年6月29日(月))
- ▲実施場所/ポリテクセンター松本
(松本市寿北7-17-1)
- ▲対象者/求職中の方
- ▲受講料/無料(テキスト代および作業服代等は実費)
- ▲その他/毎月火曜日13時30分から、施設見学と訓練体験会を行っています。お気軽にご参加ください。
- ▲申込先/ハローワーク諏訪
- ▲申込期限/11月14日(金)
- ▲問/ポリテクセンター松本
☎0263-58-3392

市民掲示板へ掲載する情報を募集しています。

市民の方からのイベントや講座などの告知掲示板としてご利用ください。

- 申し込みは団体・グループで
 - 企業・事務所の申込は不可
 - 原稿提出締め切りは前々月の10日
12月号に掲載希望の場合は10月10日まで掲載ルールをご確認いただき、お申し込みください。
- 問 地域創生課 広報係
☎72-2101(内線235)



後記 編集

Editor
Note

今月号では、茅野市の古墳を特集しました。取材を進めるなかで、市内にこれほど多くの古墳が残されていることに改めて驚かされました。何気なく通っていた仲町の交差点にもかつて古墳があり、多くの品が出土したと知ってからは、交差点を歩く時の心持ちも変わったように思います。

毎度、取材を通じて知識を得ると、同じ場所でも見え方が変わることになります。人の感じ方は本当に様々で、知識があると見えてくるものもあれば、知らないからこそ抱く印象や気持ちもあるように思います。

ただ、人によって感じ方は様々ですが、知識の有無に関係なく、どんなものにも、共通して心を動かされる部分があるように思います。今回も多くの方が、読みながら自然と興味を持ってもらえるように心掛けて制作しました。今回の特集記事や企画展が、みなさんにとって何か感じるものになっていればとても嬉しく思います。

(編集担当)

CHINO

次号(広報ちの11月号)
の発行日は、

10月22日(水)

を予定しています。